

iichiko presents

カナディアン・ブラス

Canadian Brass



世界一有名なブラス・クインテット



アキレス・リアルマコブーロス

チャック・デーレンバック

バーナード・スカリー

クリス・コレッティ

ケイレブ・ハドソン

開催日時

平成26年 **11月16日** (日)
開演 **15時** (開場14時30分)

会場

iichiko 総合文化センター
iichiko グランシアタ

入場料:

席種	一般
S席	4,000円
A席	3,000円
B席	2,000円

チケット販売: 一般 平成26年8月16日(土)
友の会 平成26年8月9日(土)

※未就学児入場不可

無料託児サービス有
(要予約。満1歳児から未就学児まで。)
11月12日(木)17時申込締切

金管楽器クワイニック

カナディアンブラスのメンバーが
各楽器に応じて指導を行います。

トランペット、ホルン、トロンボーン、
チューバ+ユーフォニアム
それぞれ各10~20名程度まで参加可能。
また、聴講も可能。(定員あり)

開催日時: 11月16日(日)13時~14時

会場: **iichiko** 総合文化センター地下1階
iichiko Space Be 内

参加料: 1,000円

聴講料: 500円

※参加、聴講ともにカナディアン・ブラス公演チケット必須

申込受付: 10月16日(木)10時より(参加、聴講ともに)
メールにて受付開始

emo-info@emo.or.jp

※U25割引 全席種半額(25歳以下対象)

主催: (公財) 大分県芸術文化スポーツ振興財団

TEL: 097-533-4004

iichiko 総合文化センター [検索](#)

後援: 大分県吹奏楽連盟

チケット取扱: **iichiko** 総合文化センターホームページ(インターネット購入)

iichiko 総合文化センター1階インフォメーション

097-533-4006

トキハ会館3階プレイガイド 097-538-3111

別府エトウ南海堂 0977-22-0827

ローソンチケット[Lコード:87263] 0570-084-008

チケットびあ[Pコード:235-934] 0570-02-9999

伝説の金管五重奏団「カナディアン・ブラス」

PROGRAM

ルネッサンス・ダンスより

W.A.モーツァルト(arr.ハドソン):弦楽四重奏曲 第14番 ト長調 K387

J.S.バッハ(arr.バーム):パッサカリアとフーガ ハ短調 BWV582

R.シューマン(arr.コレッティ/ライデノー):アルバム「カーニバル」より

M.ケイメン:五重奏曲

L.ヘンダーソン:アメリカ伝承曲
(アメイジング・グレイス、聖ジェームズ病院、ハンドフル・オブ・キーズ)

=休憩=

スペイン民謡(arr.バグレー):エル・レリカリオ

J.ブラームス(arr.コレッティ、ライデノー):ワルツ アルバム「ブラームス・オン・ブラス」より

中国民謡:万里の長城

中国のうた
(arr.ハドソン):月の明かりが私の心を映し出しているわ、(arr.リード):紫竹、
(arr.コレッティ):茉莉花

M.ロドリゲス(arr.コンパネック):ラ・クンバルシータ

G.ビゼー(arr.ミルズ):カルメン組曲より ※曲目・曲順が変更される場合があります。
予めご了承下さい。



40年以上にわたり世界中で聴衆を魅了し続ける、スーパー・ブラス・クインテットである。レパートリーはブラスのスタンダードから幅広いオリジナルのアレンジまで多岐にわたり、抜群の存在感と聴衆との絶妙なコミュニケーションは、最高のステージパフォーマンスを創出する。長年にわたりアメリカ、カナダ、日本、ヨーロッパ、オーストラリア、中東、ロシア、南アメリカなど世界中でツアー。ブラス・クインテットの音楽を開拓し多くの聴衆に伝えてきた、まさにパイオニア。リリースしたアルバムは90を越え、売り上げは世界で200万枚を越える。各地でのマスタークラス、若い世代との交流も積極的に行う。40年の歴史の中でメンバーの変遷を経て、伝統のブラス・クインテットは更なる充実、進化を遂げている。

■ グリス・コレッティ / トランペット
Trumpet



Christopher Coletti

2009年よりメンバー。ブルックリン生まれ。マンハッタン音楽学校、ジュリアード音楽院を経てハンツビル交響楽団首席奏者に就任。タングルウッド音楽センター、ジュリアード音楽院、マンハッタン音楽学校より多くの賞と奨学金を獲得。ミュージック・アカデミー・オブ・ウェスト・チェンバー・コンチェルトコンクール、マンハッタン音楽学校コンチェルトコンクール、ラガーディア・アーツ・コンチェルトコンクール、スタテンアイランド交響楽団コンチェルトコンクールなどで優勝。イェフィム・フロムマン(ピアノ)、ピエール・ブルーゼス(指揮)、マイケル・ティルソン・トーマス(指揮・ピアノ)、リッカルド・ムーティ(指揮)、クインシー・ジョーンズ、カルロス・サンタナ、グロリア・エステファン、マイアミ・サウンド・マシーンなど幅広く共演多数。教育にも力を注ぎ、ベネズエラの音楽制度「エル・システマ」にも参加。作曲、アレンジも多く手がける。カナディアン・ブラスを盛り上げるムードメーカー。ロックオーケストラ「Emanuel and the Fear」でトランペットとテルミンを担当。絶対音感を持ち、口笛も得意、名シンガーでもある。ニューヨーク、マンハッタン在住。

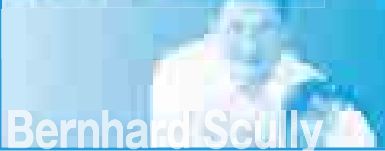
■ ケイレブ・ハドソン / トランペット
Trumpet



Caleb Hudson

ケンタッキー州レキシントン出身。2012年、ジュリアード音楽院卒業と同時に加わったメンバー。リンカーンセンターのチェンバー・ミュージック・ソサエティとのバッハのブランデンブルク協奏曲でソロデビュー。ヴェルビエ音楽祭、ミュージックアカデミー・オブ・ザ・ウェストなどに出演。アスペン音楽祭ではヴラディーミル・シュルツマン(ピアノ)とショスタコーヴィチのコンチェルト第1番を演奏。ナショナル・トランペット・コンペティションで度々優勝。ニューヨーク・シティ・バレエ、ニュー・ワールド・シンフォニー、ジュピター・シンフォニー・チェンバー・プレイヤーズ、ハドソン・バレエ・フィルハーモニック、ニューヨーク・トランペット・アンサンブル、アンサンブルACJW、アメリカン・ブラス・クインテットなどと共演。バロック音楽にも造詣が深く、フィルハーモニア・バロック、アメリカン・バッハ・ソロイスト、アメリカン・クラシカル管弦楽団、トリニティ・バロック・オーケストラなどと共演。現在、Symphony in Cの首席奏者を務め、またカーネギー・ホールの大学院プログラムも修めている。

■ バーナード・スカリー / ホルン
horn



Bernhard Scully

2004~2007年カナディアン・ブラスに在籍していた元メンバー。セントポール室内管弦楽団首席奏者を務め、ソリストとしての出演も多数。ソロや室内楽、シカゴ響などオーケストラへの出演、またワークショップやクリニックなど全米で活躍。ホルンのスタンダード曲を収録したCD「G. Schirmer Horn Library」をリリース。ミュージック・アカデミー・オブ・ザ・ウェスト、イーストマン音楽学校を経て、現在、イリノイ大学教授を務め、ケンドール・ベッツ・ホルン・キャンプ、マデリーン・アイランド・ミュージック・キャンプ、ラファエル・メンデス・ブラス・インスティテュートでも教えている。マクナイト・フェローシップ、2010年ウィスコンシン大学マディソン校より特別同窓会賞など受賞多数。

■ アキレス・リアルマコプロス / トロンボーン
Trombone



Achilles Liarmakopoulos

ギリシャ生まれ。イェール大学音楽院、カーティス音楽院、サンフランシスコ音楽院に学ぶ。ボック財団、ミルトン・L・ロック特別奨学金、ハンリー&ルーシー・モーゼス基金、アレクサンダー・オナシス財団、ギリシャ政府奨学金財団などから奨学金獲得。イェール大学卒業時フィリップ・フランシス・ネルソン賞を授与。パサディナ・ショーケース・ハウス器楽コンクールにてグランプリ他、C.リンドバーク国際コンクール、ヨーロッパ・ヤマハ音楽財団国際トロンボーンフェスティバル、ロバート・マスター／コーン・セルマーコンクールなど多くのコンクールで輝かしい成績を修める。優れたソリストでもあり、現代作曲家からの作品献呈、新作初演も多く、意欲的な活動を展開。アメリカ、中国、スペイン、フランス、オランダ、オーストラリア、フィンランド、ギリシャなどでソロリサイタル、また世界各地の名門オーケストラにて演奏。4シーズンにわたりギリシャ放送交響楽団首席奏者も務めた。ピアノラ作品のデビューアルバム「タンゴ・ディスティノ(Tango Distinto)」(Naxos)も高評を博す。

■ チャック・デーレンバック / チューバ
Tuba



Chuck Daellenbach

1970年のグループ結成当時から残る唯一のメンバー。豊かな音楽性とイマジネーション、ユーモアをもたらし、カナディアン・ブラスの革新的な歴史において重要な役割を担ってきた。音楽一家に生まれ、ウィスコンシンで生まれ育つ。10代の頃から長年にわたり、シカゴ響伝説のチューバ奏者アーノルド・ジェイコブスに薫陶を受ける。イーストマン音楽学校にて25歳で博士号取得後、カナダ、トロント大学にて教鞭をとるなかでトロンボーン奏者ジーン・ワッツと出会い、共にブラス・クインテットを結成。これが「カナディアン・ブラス」の誕生であった。以降、カナディアン・ブラスを率い、二度のエリザベス女王御前演奏を含む多くの歴史的な名演を生み出すこととなる。40年以上にわたり録音数も膨大、世界中の多くの著名音楽家、指揮者と共演。現在活躍するチューバ奏者の中でもひととき知られた存在。近年は更に活動の幅を広げ、ハル・レナード社(アメリカ最大の楽譜出版社)よりブラス200曲のシリーズの出版/CDリリース、またカナディアン・ブラスの録音レーベルであるCanadian Brass Publishing、Opening Day Entertainment Groupの総裁を務めるなど、多才な手腕を発揮している。トロント在住。